

祝百歳 おめでと〜ございます

御来屋11区の古田暉男さんが、1月4日に満百歳の誕生日を迎えられました。



家庭菜園を楽しまれ、元気に過ごされている吉田暉男さん

古田さんは明治43年の生まれ。百歳を迎えられた現在でも、とても元気に家庭菜園に精を出しておられます。

長寿の秘訣を伺うと、毎朝行う乾布摩擦と規則正しい生活を送ることだそうです。

森田増範町長から記念の品を受け取られると、笑顔でお礼を言われました。

これからも、元気の秘訣の乾布摩擦と規則正しい生活を送って、ますますお元気で毎日を楽しくお過ごしください。

第3回 国道9号塩津地区交差点改良協議会

第3回「国道9号塩津地区交差点改良協議会」が12月25日に、中山農村環境改善センターで行われました。会では、今後の会長に岩倉恭司さん（再任）、副会長に福永博昭さん（赤坂区長・新任）を選任しました。また前回出された意見を基に、国土交通省から2案の提案があり、3グループに分かれて意見交換を行いました。



未設置区間の歩道設置は賛否が分かれたが、右折レーンは設置、現在ある2つの横断歩道橋は残すという意見が大半でした。

国土交通省は周辺関係者への説明会を行い、家屋などへの影響の範囲、歩道の設置が可能か検討するため測量を行い、より現実的な改良案を示す方針です。今後も地元との意見交換を行いながら事業を進めていく方針です。

七草そろえてホーイ・ホイ

大塚地区では、古くから伝わる「鳥追い行事」を子どもたちに伝えようと、大人たちと子どもたちが一緒に伝承行事に取り組みました。

子どもたちは、行事の指導役を務めた美甘芳充さんから、まず「鳥追い行事」が、豊作を願う意味と、健康を願う意味があることを教わりました。その後、鳥追いのお囃子を習うと、七草を前に置いたまな板をしゃもじなどで叩き、大きな音で調子を取りながら「鳥追いばやし」を歌いました。



「唐土の鳥が日本の土地に 渡らぬ先に かたらの先にピストルさい（挿し）て七草そろえて ホーイ ホイ」と囃しながらまな板を叩きます。

*かたら=野イバラ

最後に、大塚地区周辺で摘んで作った七草がゆを食べると、子どもたちは「むかしのことが学べて勉強になった」「楽しかった」と目を輝かせていました。お囃子は地域で文句が異なるそうですが、皆さんのところはいかがでしょうか？